

シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校
2025. 10. 31



探究的な学びを通じて「独自の発想や視点」を創造しよう

シラチャ日本人学校 校長 藤枝茂雄

2025年9月上旬に、中央教育審議会の教育課程企画特別部会から次期学習指導要領に関する「論点整理」が公表され、学校での「新しい教育の姿」がかなり具体的に見えてきた。知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育むという大きな枠組みのもとで、これからの予測の困難な時代を生きる子供たちが「自らの人生を舵取りする力」を獲得するために、情報活用能力の習得や探究的な学びの充実にかんがりの力点が置かれている様子がよく分かる。

本校では、規模的にも所在地的にも非常に恵まれた条件にある在外教育施設というメリットを最大限に生かすことができるように、全校を挙げて探究的な学びの充実に取り組んでいる。

具体的には、探究的な学習の中核となる「総合的な学習の時間」において、①「思考・判断・表現における教科横断的な学びの推進」、②「身近なタイの事象の興味関心に基づく教材化(探究テーマ化)」、そして、③「9年間の学びの小中連携の高度化(国際バカロレア教育の学びのアプローチを取り入れた学年間の系統性の重視)」を目指している。

その成果は、「各学年の中間成果物の最高到達点」という位置付けのシラチャ

祭の発表で存分に発揮されているわけであるが、本校のシラチャ祭は、各学年の子供たちが年度当初からの学校での学びの中で、疑問に思ったり、興味関心を抱いたりしたことを、学年の先生が「学校として目指す成果物のゴール」を意識してコーディネートしながら、創意工夫に満ちた表現の形へと再構成しているところに最大の特色がある。

その質を支えているものは、タイへの在留期間に応じて、それぞれの児童生徒や先生が、その期間で知り得たタイの面白さや魅力を、しっかり取り入れよう、伝えようとして努力する姿勢であり、それに加えて、タイという国や、シラチャという地域が「好きである」という^{こういてき}肯定的な心情だろう。

さらに、それぞれの学年、学部の先生の意欲的なアプローチもすばらしい。学年団の先生は、4月当初から、10月のシラチャ祭の発表に向けて、ひそかに子供たちの学びを最大限に再構成するための材料を集めている。子供たちもそれによく^{こた}応えてしっかりした学びを積み重ねている。これらのことは、どの学年でも、背景のスライドに、実際に一学期から実施された子供たちの活動が使われているものが非常に多かったことからよくわかる。そして、こうした傾向は、代々受け継がれて、各学年で年々強まっている。

中学生が、小学生のお兄さんやお姉さん役として、小学部の全学年と一緒に楽しめるイベントを主体的に企画する「生徒会企画」という取組も続けられている。これらの取組も、先輩の生徒たちの実践とノウハウの積み重ねがあって成り立つものである。

中央教育審議会の教育課程企画特別部会の「論点整理」の中には、「生成 AI」などデジタル技術の発展が^{あい}相まって、皆と同じことができることも重要だが、そ

れ以上に独自の発想や視点に価値が置かれるようになってきている。」という一文がある。私たちが重視したいのは、まさに「独自の発想や視点」である。実際に中学部の「総合」で、小グループや個別のテーマ設定による探究へのシフトを強めていくようにしているのは、この「独自の発想や視点」を切り開く個人裁量の割合を大きくしていることにほかならない。

QRコードとメンチメーターを用いたスライドを投影することで参加者全員を巻き込む企画、校外学習で学んだ内容の寸劇への表現転換、タイの楽器や音楽を日本の伝統と調和させた演出、ICTを用いた発表と手作業の展示物の併用など、シラチャ校独自の創造性は、参観している人々の心に強く響くものがある。そうした優れた「独自の発想や視点」を生かす力は、現地校交流などでも存分に発揮できるだろう。

小学生、中学生とも、それぞれの発達段階に応じて、よりレベルの高い「独自の発想や視点」を生み出す想像力や創造力を、シラチャ校での学びの中で習得してほしいと願っている。



2025 年度シラチャ祭 全校児童生徒共同作品

先日のシラチャ祭はいかがでしたか。

舞台上で大きな声でセリフを言う人、堂々と踊る人、楽器の演奏を頑張った人、一人一人が自分の役割を全力で果たした最高のシラチャ祭になったと感じます。このシラチャ祭を通して、また一つ大きく成長できたことでしょう。

ここでは、シラチャ祭を裏方で支えたシラチャ祭実行委員の活動をお伝えします。

全校児童生徒がどのような思いでシラチャ祭に臨んでほしいのかを考え、「Be Brave～勇気を出して舞台へ～」のスローガンができました。「舞台」とは、シラチャ祭だけでなく、人生のさまざまな「ステージ」についても表したのだと実行委員長から聞き、考えの深さに感心しました。

体育館の後ろに掲示していた全校合同作品は、【全校児童生徒の繋がり】【運動会からの繋がり】をもたせたいという実行委員の思いで、「400人」というキーワードが入っています。一人一人がそれぞれのカラーをもっているという意味で、虹色の外輪がデザインされています。また、「ぶたいに立って နီနီနီနီ」の「နီ」(ルン)は「虹」という意味で、舞台上「ルンルン」と楽しみ、「虹」のように輝いてほしいという二つの意味が込められています。

児童生徒鑑賞日では、司会進行や、実行委員会企画も全て実行委員が行いました。シラチャ祭に向けて約1か月に渡り、実行委員は自分たちの学年の発表と合わせて、上記の活動を行っていました。「とても忙しかったけれど、実行委員になって良かった」という声が聞かれました。

各学年の頑張り、実行委員の頑張りが合わさったからこそ、最高の舞台になりました。

この経験を生かして、これからのステージでも頑張ってくれることを願っています。



杉山沙織

「シラチャ祭に懸ける思いはこんなに熱いものなんだ!」、初めてシラチャ祭を経験し、私が一番強く感じたことでした。どの学年の発表でも、児童生徒が堂々と舞台に立ち、それぞれが工夫を凝らした表現を行う姿があり、引き込まれていきました。子供たちの中には、人前で立って発表することが苦手と感じたり、学んだことを工夫して伝えていくことを難しいと感じたりする人もいたと思います。しかし、それぞれがきっと、自分自身の苦手なことにも向き合いながら準備を進めてきたのだと、そして、4月からスタートした学校生活の中で、たくさんのことを学び、成長してきたのだと思うと、何度も胸が熱くなりました。まさに、今年のスローガンである「Be Brave～勇気を出してステージへ～」が体現されたシラチャ祭だったと思います。子供も教師も一緒に手を取り合い、一つのものに向かって歩いていくことにもまた、シラチャ祭の意義を感じ、これからの学校生活でも今回を無駄にしたいけないと子供たちから学ばせてもらい、背筋が伸びる思いです。

これまで築いてきたシラチャ祭の伝統を守りつつ、今年度は新しい取組みにも力を注ぎました。小中学生ともに実行委員形式で行ったこと、そして全校生徒で作る合同作品です。特に中学生のシラチャ祭に懸ける思いの中には、昨年までのシラチャ祭で築き上げてきた伝統と、今年ならではの新鮮さを取り入れよう、そして何より「誰にとってもシラチャ祭が最高のものになるように」という熱い思いがありました。それを共有したからこそ後輩たちにも伝わり、みんなで最後まで走り抜けることができたと思います。リーダーシップやさまざまな視点で考え進めていく姿勢、難題にぶつかっても投げ出さない根気強さはすばらしいものでした。中学部実行委員企画では、1年生から9年生までが絆を深め、楽しめるにはどのような工夫が必要なのかを、毎日昼休みに集まり、話し合ってきました。なかなか一筋縄ではいかないことも多かったのですが、どんなときでも「準備の段階から自分たちも楽しむ」気持ちを貫き、明るい雰囲気を取り組みました。当日の臨機応変さも、細部まで想定し、準備を重ねてきたからこそできたことだと感じます。ここで得たものや感じたことを、今後多くの場面で生かしていける力があると信じています。今後も引き続き、子供たちの可能性を伸ばし続けられるよう、一緒に取り組んでいけたらと思います。



今年度着任された先生方の文章を
順番に紹介していきます。

Like A Tortoise Overtaking A Hare

岩崎 哲平

誰もが幼いころに聞いたり読んだりした、イソップ物語「ウサギとカメ」を思い出してほしいと思います。マイペースなカメが、あきらめずに努力を重ね、最後にはウサギを追い抜くというものです。この物語には、大切な教えが込められています。

私は学生時代、バスケットボール部に所属していました。チームが格上の相手に下剋上を果たしたときや、ある試合で大活躍をしたとき、監督は褒めた後に必ずこう言っていました。「ここで満足してはいけない。いい結果が出たとしても絶対に偉そうにはしていない。」その言葉には、どんなに成果を出しても謙虚さを忘れず、常に上を目指し続けることの大切さが込められていました。そして、この「ウサギとカメ」の話をしてくれたこともありました。

バスケットボールだけではなく、人生でも、成功を収めるためには、たゆまぬ努力と向上心をもち続けることが大切であると私は考えています。ウサギを追い越すカメのように、自分の夢や目標に向かって、これからも一歩ずつ前進していきます。

心を動かす力

阿部 瑤子

少し前になりますが、9月はスポーツに心を動かされる月となりました。

タイで開催された女子バレーボールの試合を観戦し、多くのタイの方々が日本代表を応援する姿にとっても驚きました。自国のチームが国外でもこれほど愛されていることに、自分のことのように誇らしい気持ちになりました。

続いて行われた世界陸上では、日本選手はもちろん、世界中の選手たちが全力で戦う姿に胸を熱くしました。学生時代はバスケットボール部でプレーする側でしたが、今は応援する立場となり、また違った感動を味わっています。

スポーツは人の心を動かし、国境を越えてつながりを生み出すものだとは改めて感じています。子供たちにも、何かに夢中で取り組むことのすばらしさを日々の学校生活の中で見つけてほしいです。

11月の行事予定

日 曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日 (土)		
2日 (日)		
3日 (月)	・全校5時間授業 ・悩み相談月間(21日まで)	14:20 P1-6, M1-3
4日 (火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
5日 (水)	・ローイクラトンの日(全学年) ・縦割り班活動	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
6日 (木)	・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
7日 (金)	・第2回授業参観	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
8日 (土)		
9日 (日)		
10日 (月)	・児童集会 ・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
11日 (火)		14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
12日 (水)	・修学旅行(6年) ・購買(配付日)	14:20 P1 15:25 P2-5 M1-3
13日 (木)	・修学旅行(6年)・第3回定期考査 ・購買(提出日)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-5 M1-3
14日 (金)	・修学旅行(6年) ・学級だより配信(小)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
15日 (土)		
16日 (日)		
17日 (月)	・クラブ活動 ・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
18日 (火)	・修学旅行説明会(8年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
19日 (水)	・新体力テスト(小)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
20日 (木)		14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
21日 (金)	・委員会活動(小)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
22日 (土)		
23日 (日)		
24日 (月)	・音楽集会 ・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
25日 (火)		14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
26日 (水)	・交流学習会(小) ・購買(配付日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
27日 (木)	・購買(提出日)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
28日 (金)	・学校,学年だより配信 ・学級だより配信(小,中)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
29日 (土)		
30日 (日)		

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。



クラトンづくり(全学年)

5日(水)は、タイ語の先生よりロイクラトンについて教わり、実際にクラトンづくりを体験します。各自どのようなクラトンを作り上げるのか、完成がとても楽しみです。

第2回授業参観

7日(金)は、授業参観を予定しています。お子様の学校での頑張りをご覧いただければと思います。詳細につきましては、10月10日にClassroomに配信済みの案内をご確認ください。

第3回定期考査

13日(木)は、中学部第3回定期考査です。5教科のテストがありますので、計画的に勉強を進めておきましょう。

小学部交流会

26日(水)は現地校であるパサーズ校に来ていただいて交流会を行います。各学年が用意したゲームや文化交流の企画を通して、お互いの文化を理解し合います。中学部は12月に交流会を予定しています。

早期一時帰国者・退学の通知表作成について

最終登校日	一時帰国	退 学
11月14日(金)以前	○通知表を作成します。 ○出欠の記録、所見、特活の記録等を記入します。 ○評価・評定はしません。 ○12月26日(金)以降に、児童生徒または保護者にお渡しします。 ※受け取りについては、担任とご相談ください。	○通知表は作成しません。 ○口頭で学習状況等をお伝えします。
11月17日(月)以降	○通知表を作成します。 ○上記の内容に追加し、評価できる項目を記入します。 ○12月26日(金)以降に、児童生徒または保護者にお渡しします。 ※受け取りについては、担任とご相談ください。	○12月26日(金)以降に郵送します。帰国後の住所と電話番号をお伝えください。 ※郵送方法については、担任とご相談ください。